

Phonak Target 6.2

サウンドリカバー2 フィッティングガイド

このガイドには、Phonak Target フィッティング ソフトウェアで利用可能なサウンドリカバー2の使用とフィッティングに関する詳細が含まれています。このフィッティングガイドは成人向けです。小児用のフィッティングについては、ジュニア モードのフィッティングガイドを別途参照ください。サウンドリカバー2は、適応行動が可能な周波数圧縮システムです。サウンドリカバー2は、2つのカットオフ周波数、CT1とCT2で定義されます。サウンドリカバー2の新しい適応行動により、カットオフ周波数CT1を以前より低い周波数に設定することができますその結果、通常の圧縮比は、サウンドリカバー2でさらに低くなります。サウンドリカバー2のフィッティングでは、2つのスライダをTargetの画面上で調整できますフォナック補聴器のプログラミングとフィッティングに関する詳細は、Phonak Target フィッティングガイドを参照してください。

目次

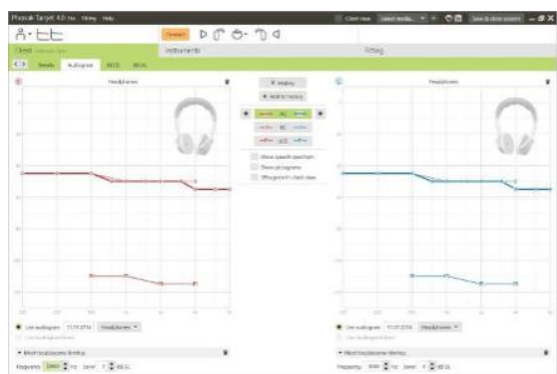
オーディオグラム.....	1
デフォルトの値と曲線の表示.....	2
微調整.....	3
再計算.....	4
効果測定.....	4
記号の情報と説明およびシステム要件.....	4

オーディオグラム

サウンドリカバー2のデフォルトのパラメータは、良聴耳のオーディオグラムに基づいて事前に計算されます。

デフォルトのパラメータは、良聴耳について計算/設定されて、両耳に適用されます。

[顧客] > [オーディオグラム] > をクリックし、オーディオグラムを入力します。



デフォルトの値と曲線の表示

サウンドリカバー2は、次の一般的な規則に従って作動する複雑なアルゴリズムです。

サウンドリカバー2は、8kHzの閾値が45dBHL以下の水平型または漸傾型の難聴については、デフォルトでオンになっており、逆漸傾型の難聴については、デフォルトでオフになっています(8kHz \geq 30dBで3kHzより良好)。

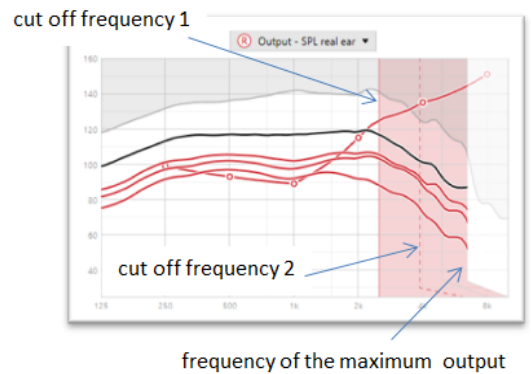
サウンドリカバー2は、デフォルトでオンになっていると、自動でも手動でもすべての補聴器のプログラムをデフォルトで有効にします。
[サウンドリカバー2を有効にする]チェックボックスをクリックして無効にすることもできます。

サウンドリカバー2の設定は、Targetの曲線の表示で閲覧できます。右耳は赤、左耳は青で、サウンドリカバー2で有効な周波数の範囲については右図のように、該当の周波数帯域が薄く塗りつぶされます。アルゴリズムは、3つのパラメータで定義されます。向かって左から、最初の実線はカットオフ周波数(CT)1、2番目の点線はカットオフ周波数(CT)2、3番目の線は最大出力周波数です。圧縮は、両方のカットオフ周波数の間にある色付の周波数範囲に適用されます。入力音に高い周波数帯成分が多い(強い)場合、この周波数領域が圧縮されます。そうでない場合は圧縮されません。カットオフ周波数2(点線)より高い周波数に該当する色付部分の周波数は、常に圧縮されます。色付部分の外の周波数1は、常に非圧縮です。

最大出力周波数を超える周波数の出力はありません。

サウンドリカバー2の事前計算は、スライダーを移動することで両耳とも微調整できます。

[微調整] > [サウンドリカバー] > [サウンドリカバーII] > をクリックし、スライダーで値を調整します。



微調整

スライダーを変更すると、カットオフ周波数、圧縮比、出力の最大周波数に影響します。スライダーを直接クリックするか、スライダーの丸数字をクリックして押したままスライドすると、スライダーを調整できます。

サウンドリカバー2の性能は、知覚的次元で説明されます。スライダーは、次の3つの重要な知覚的次元を反映してラベル付けされます。

- 音素の/s/、/f/、/th/など、高周波数の音の**可聴性**。
- /s/、/sh/など、低下した高周波数の音の**区別または識別**。および、
- 母音の/a/、/e/、/i/など、低周波数から中周波数の音の**音質**。

/s/と/sh/を検出する能力を増大するには、**[可聴性]**に向けてスライドします。

/s/と/sh/の差を区別する能力を増大するには、**[識別性]**に向けてスライドします。

母音の自然らしさを増大するには、**[快適性]**に向けてスライドします。

微調整では、可聴性と識別性のスライダーを最初に調整してください。明瞭性と快適性のスライダーは、可聴性と識別性のスライダーを調整するたびに連動して自動的に再設定され、母音の音質を自動的に最適化します。

[可聴性]と**[明瞭性]**でスライダーを両方とも完全に左に移動すると、共に性質が最も低くなります。高周波数の可聴性や検出を最大にすることを目的とした場合に予想される状態となります。



再計算

[再計算]をクリックすると、事前計算設定に[全微調整をリセット]します。
事前計算の設定も、Target でスライダーに表示されます。

効果測定

次の検査は成人に推奨されます。

1. **良好**:生の音声の/sh/、/s/または「Mississippi」で検出を確認します。「moon」や「name」などの語音で母音を確認します。
2. **比較的良好**:防音室内での検査
3. **最高**:音素認識テストは、高度から重度の難聴を患う成人用の微調整に特に適しています。

次も参照してください。

音素認識テストの取扱説明書。

Best practice protocol: Pediatric verification for SoundRecover2.

記号の情報と説明およびシステム要件

記号の情報と説明およびシステム要件の概要は Phonak Target フィッティングガイドで確認できます。

CE マークには、2020 年に申請しました。



メーカー:
Sonova AG
Laubisrütistrasse 28
CH-8712 Stäfa
Switzerland